これまでいただいたご意見への調整状況

参考資料２

【委員名：安書委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
将来都市構造	26	⑤防災減災核	文中1行目防災力の向上→防災・減災力の向上に変更 （上記同様）	2	−
⑷防災・減災まちづくりの方針	51	−	骨子の4防災まちづくり→防災・減災まちづくりに変更	1	−
⑷防災・減災まちづくりの方針	51	−	防災まちづくりの方針→防災・減災まちづくりの方針に変更	1	−
⑷防災・減災まちづくりの方針	51	−	1）震災に強いまちづくり→災害に強いまちづくりに変更 2）及び3）は、1）に統合し、2）・3）のサブタイトルは削除する。震災・風水害の文言は災害に統一する。3）のサブタイトルも災害に強いまちづくりの推進に抱活される。 したがって、2）の①②は④⑤として3）の①は⑥とする。 災害をあえて「震災」と「風水害」に分けて考える必要性があるのなら別ですが…。	3	それぞれの災害について、記述すべき内容とボリュームから２項目に分類しました。
⑷防災・減災まちづくりの方針	52	基本的な考え方	基本的な考え方の、文中7行目防災対策→防災・減災対策に変更	1	−
⑷防災・減災まちづくりの方針	52	基本的な考え方	防災都市の実現→防災・減災都市の実現に変更	3	地域防災計画の基本理念である「市民の生命と暮らしを守る防災都市の実現」との整合を図りました。
⑷防災・減災まちづくりの方針	−	−	（防災から減災への転換がまちづくりの視点となっているので、整合性を図った方が良いのではないか？）	3	構成の見直しに伴い、他の項目に吸収することとなりました。

表の見方

- 素案目次・・・資料２の目次と連動しています。
- 頁　　　・・・資料２のページを示します。
- ご意見　・・・第２回策定協議会(紙上会議)にて、委員の皆様からいただいたご意見です
- 調整状況・・・ご意見に対する事務局の調整状況です。
- 適用　　・・・ご意見に対する事務局の回答です。
- 委員名　・・・ご意見をお寄せいただいた委員名です。

調整状況の凡例

- １・・・ご意見を計画に反映したもの
- ２・・・ご意見を反映するために調整中のもの
- ３・・・現段階で計画への反映が難しいと考えるもの
- ４・・・ご意見としてお受けしたもの

※３についてはコメントを記載しました。

【委員名：工藤委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
総合計画基本構想(案)の将来都市像	－	－	きらりとひかる田園都市みさと～人にも企業にも選ばれる魅力的なまち～ 今後２０年後を想定したとき、田園都市という言葉が相応しいかどうか疑問。例えば、以下のような文言はどうでしょう。 “創造と活力”未来都市みさと～水・緑・人が織りなす豊かなまち～	3	第５次総合計画基本構想における将来都市像であり、整合性を図る必要があります。
⑷防災・減災まちづくりの方針	56	防災・減災意識の高揚と自主防災組織の育成・強化	行政と市民が一体になった防災体制の推進、防災意識の高揚と自主防災会組織の育成・強化の中で、「地域防災体制の育成・強化」、「災害時要支援者の安心が確保されたまちづくり」、の２点がありますが、もう一点「災害時の情報発信体制の確立」、という項目を入れた方がいいと思います。 災害時の情報発信体制の確立は非常に重要な項目で、昨年の台風１９号の時の三郷市の情報発信の仕方は市民に不安を与えてしまったと思います。情報発信体制の確立は非常に重要な問題です。	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	76	公共施設の有効活用	４）公共施設を通じた魅力あるまちづくりの推進 ①公共施設の有効活用 各施設の有効利用が進むよう、利用者（市民）の声を反映させるために、市民との協働体制をつくる。 の一文を挿入 公共施設については、子育て部門だけでなく、公共施設利用者全般にいえることですが、利用者（市民）の声を聞き、施設が有効に利用されているか、また、施設運営がニーズに合っているかなどを再点検する必要があると思います。 そのとき、市民目線を取り入れられるようもっと市民との協働体制を確立していく必要があると思います。	2	－
全体の感想	－	－	今後２０年後を想定した場合、少子高齢化は益々進むものと思われます。全体構想の中に高齢化対策や男女共同参画をめざしていくような文言が一文入っていた方がよいように思います。	2	－

【委員名：後藤委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
－	－	まちづくりの進捗状況	施設整備と拠点整備しか掲載がないため、部分的な評価にとどまっている。	4	－
－	－	－	部門別まちづくりの方針６つ、またそれの下位方針ついて、どの程度実現しているのか、いないのか、定性的でも良いので示した方が良いのではないか。	4	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	最も多い項目にのみ注目するのではなく、２番目、３番目・・に多い項目にも注目すべき。	2	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	P2（項目別満足度と優先度の分布）１から５で回答してもらっているのであれば、グラフも1-5の軸でつくるべきではないか。相対的には、田園風景の点数なども高いが、絶対評価でみるとそう高くないという現実をよく分析するべきではないか。	2	－
⑴土地利用の方針	32	地域経済の活性化を支える機能的な市街地の形成	農地、生産緑地について、触れる必要あり。「田園都市みさと」と将来都市像でいっている以上、重要な項目だと思います。	1	－
⑴土地利用の方針	30	良好な住宅市街地の形成	「計画住宅地」が意味するところは何か？一般的には、計画住宅地は計画的に開発された郊外戸建て住宅地を指すことが多いように思われる。現在のプランを見る限り、「みさと団地」が例示されているが、そうだとするならば、集合住宅団地などとしてはどうか？	2	－
⑴土地利用の方針	33	緑を活かした土地利用の創造	市街化調整区域についても方針を入れたい。資材置き場などについて、市の担当課のみなさまも課題意識をお持ちのようでしたし、その通りかと思う、景観にも関連する。「田園創造地」のことだとすれば、ここに市街化調整区域と明記してはどうか。	2	田園創造地に変えて、環境調整地区を設定しました。
⑵道路交通体系整備の方針	39	生活道路の整備	「生活道路の整備」→「生活道路の整備・改善」としてはどうか？	2	－
⑷防災・減災まちづくりの方針	57	防災・減災意識の高揚と自主防災組織の育成・強化	大規模民間施設も防災空間として活用するといった視点を盛り込んではどうか？そういった協力体制の構築に取り組みます、といった文言。	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	62	屋外広告物の規制・誘導	屋外広告物の規制・誘導も入れたい	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	66	市街地の緑化推進	「緑がいきいき・・・」民有地における緑化誘導、について項目をたててはどうか。	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	71	高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくり	「すべての人にやさしい@@@」：子どものみならず、少なくとも高齢者は項目を立てる必要あり。	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	74	多様なライフスタイルに対応した住宅・住宅地の環境整備	空き家活用、リノベーションまちづくりなどはどこにいれますか？	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	74	多様なライフスタイルに対応した住宅・住宅地の環境整備	「外国人との共生」の項目も必要では	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	74	多様なライフスタイルに対応した住宅・住宅地の環境整備	住宅の確保が困難な人に対するセーフティネットの構築、も必要では	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	－	－	既存住宅の活用、といった話はここに入れるのか	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	－	－	地域包括ケアは？	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	－	－	「コミュニティの創出」といった項目も必要では？交流拠点とも関連づけられる。	2	－

【委員名：渋谷委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	市民アンケートによると総じて基本的生活基盤の更なる充実が求められており、快適な生活環境、利便性及び災害対策など多方面において、特に生活道路整備がその基本であると考えます。	1	－
将来都市構造	27	将来都市構造図	将来都市構造図における三郷市最北部の産業振興地区は現在大規模墓地が造成されているが影響はありませんか。	4	－
⑹生活充実まちづくりの方針	69	－	環境に配慮したまちづくりの推進＝持続可能な街づくりの展開ではレベルが違いませんか。持続可能な街づくりの展開はもっと上位のような気がしますが。	1	－

【委員名：富岡委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
－	－	－	個人的には三郷駅周辺と新三郷駅、三郷中央駅周辺の開発具合の違いは明らかで、駅周辺の賑わいが大きく違っているところを改善してほしい。三郷駅周辺はこれ以上の開発は望めないのかもしれませんが、もう少しアイデアを出してほしいものです。そうは言っても三郷駅周辺は住宅地として継続する方が良いとも考えられます。微妙なところですが。	2	－
－	－	－	InternationalSchoolの誘致はどうか。市立でも良いと思う。	4	－
将来都市構造	27	将来都市構造図	北部に大規模商業施設があるので、南部には何か別のランドマークが必要かと思います。	1	－
将来都市構造	27	将来都市構造図	防災減災核が２カ所あるが、中央及び南部にあり北部が手薄のように思われる。全市的な取り組みも必要と思う。	3	防災減災核を２箇所に位置づけた理由としまして、消防活動の第一線を担う消防・防災総合庁舎、災害対策本部を置く市役所と南部に建設予定の防災・コミュニティ機能を担う施設の２箇所に設定しました。
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	本アンケート結果では私も含めて三郷市に３０年以上住んでいる方が５割以上いることに驚き、住みやすいところであることがわかった。	4	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	概ね、一連のグラフ等を見ると満足度指数と優先度指数は負の相関をしていると見えるので、このアンケート結果は市民の意識が反映されていると言える。	4	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	２ページ目に誤植がある。２番目の・で～同様に早稲田地域では<u>１９.５%</u>に対して<u>２１.６%、</u>～と参考表ではなっている。 ４ページ目の２番目の・の誤植：「鉄道漠」ではなく「鉄道やバス」 また、３番目の・の早稲田地域ではなく東和地域の間違い。	4	－
⑵道路交通体系整備の方針	－	－	計画の進捗は概ね予定通りのようにみられる。 ただ、施設及び道路の整備は予定通りであるが、特に道路が整備されるとより三郷市を通過する車両が増えているようにも思われる。特に重量車輌の通過が多く道路の痛み具合も心配ですし、歩行者の安全等も心配です。新しい橋ができた際にそういう車両の導線がきになるところです。	1	－
⑶社会基盤施設の整備方針	47	下水道の整備方針による水質の浄化	２）安全・快適な歩行空間の形成 「多くの水路等」は景観提供、歩行空間として有効と考えるが、水路の水質はどうか？水質改善事業も必要ではないか。	1	－
⑷防災・減災まちづくりの方針	52	基本的な考え方	我が国で発生した大地震の中に「東日本大震災」が入っていないが良いか。	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	－	－	「緑の基本計画」とは、どこに記述されているのか。	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	－	－	「景観計画の方針」とは、どのような方針なのか？三郷市は土地の起伏がなくまっ平なのでランドマークが見えない特徴がある。ランドマークは市役所かな？全市が見渡せる施設も必要なのではないか。	4	－
⑹生活充実まちづくりの方針	71	ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり	内容については賛成です。特に、高齢者、障がい者に優しい町づくり。例えば道路のバリアフリー化（車椅子でも容易に通れる歩道、容易に乗れるバス、障害者でも容易に歩ける遊歩道など）	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	74	多様なライフスタイルに対応した住宅・住宅地の環境整備	外国人にも対応できる町づくり、例えば町名等の表示の英文（多言語）化を進める。外国人にも優しい町づくり。市民と外国人との交流ネットワークの構築など。	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	75	安全・安心な防犯のまちづくり	防犯カメラの設置数の増加を目指す。	1	－

【委員名：堀切委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
―	―	―	前回のマスタープラン（10年前）の将来都市構造図にある産業立地ゾーンが確実に事業化され、予定された地域拠点のうちインターA、南部及び北部が都市計画上の市街化に編入され、10年前から比べて市街化率も大幅に変化。三郷市の特徴である物流・流通・物販系の産業が今後も増加することが予想され市としての幹線道路整備は継続的に進めるべきことがこの現状認識から分かる。現状どこまで進んでいるかの確認は今後とも大切と考える。	4	―
―	―	―	安心・安全・自立が前にかかげている以上、具体的には経済的な背景をしっかり市民の認識できる言葉が必要と考えている。決して金儲けの話ではなく、国の財政の内容からポイントを認識させる工夫が必要で、今後社会保障給付関連の増加をまちづくりの観点から、自立を促す小さな取り組みの種を将来都市像にも反映させたい。具体的な言葉や、提案が今あるわけではない。	1	―
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	項目の内容や調査の分析結果まで、よくまとめられていると思います。次回もあまり内容を変えず比較できると更に今後の対応にプラスとなると考えます。結果からすると高齢化の特徴がでてきていて、長く住み続けている、今後も住み続けたい割合が増加していくことと入れ変わる（活性化）事も今後は課題となるだろう。	4	―
⑴土地利用の方針	３０ ３３	良好な住宅市街地の形成 幹線道路沿道を活かした土地利用の創造	基本的な考え方の項目に三郷市の特徴が認識できる言葉が欲しい。中心市街地がないメリットを生かし、今後も変化に適応していくまちづくり、裏を返せば中心市街地がないためのメリットが今後の成長にうまく生かせるのではないかと考えている。都市構造図にある各地域拠点を結ぶ幹線道路の交差点は産業振興地区として青く色づけされているので1）の機能的で良好な市街地の形成の中に新和吉川線、新和高須線も言葉として入っていた方が将来的に手続き上スムーズに進められるのではないかと思う。今後の面整備等の将来の件だけではなく過去にできあがった地域の中で、三郷団地についての記述がなく、50年の歴史から今後10年の間には再構築せざるを得ないのではないかと考えている。（松原団地は建替えを実行中）三郷団地について、市としての今後の考え方を明記（具体的でなくて良いと思う）すべきと考える。	2	―
⑵道路交通体系整備の方針	36	―	記述の通りで良いと思う。	―	―
⑶社会基盤施設の整備方針	―	―	この分野においては自立という観点から、将来の民営化も含めた言葉を入れても良いのではないか。	4	―
⑷防災・減災まちづくりの方針	―	―	概ね記述の通りでいいと思う。	―	―

⑸みどり・景観まちづくりの方針	−	−	国の予算でも縮小傾向の分野でもあり、市民、事業者、市の役割に自立を促す必要性を認識させる言葉が書けないかと思っている。公園も1つ1つ、役割や機能が異なっている事を防災とも関連づけて認識させる。	2	−
⑹生活充実まちづくりの方針	−	−	言葉の使い方だと考えているが、この項目の中に三郷市の特徴、独自のアピールできるようなものが欲しい。今後20年間に人口の増加が見込まれる当市は全国的にも差別化の要因を持ち合わせている。三郷市の「見晴らしの良さ」を外部に対しても印象付けるべきと考える。人口増加という観点から20代から40代の子育て世代に焦点を絞り子育て世代の継続的定着と循環が促進される、開かれたコミュニティ作りの支援を将来都市像の中に加えたい。	3	第５次総合計画において内容をカバーいたしました。

【委員名：村岡委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
－	－	－	前期計画のフィードバックを。 実現した事項だけではなく、実現できなかった主要な事項も記載し、なぜ実現できなかったのかについての事由・課題を明記。次期計画への引継ぎ計画の可否にも言及した方が、良いのではないか。	4	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	アンケート結果の尊重を。	－	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	（概要）には、記載されていないが、問11、問12の回答結果の多数のニーズを尊重。緑の保全、緑の増加をキーワードとした、首都圏に近接しながらも、河川・田んぼに恵まれた三郷の地勢を生かした、水辺に親しむ、遊具のある公園、遊歩道等を中心に、整備・拡充を図る実現方策が欲しい。	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	－	－	骨子(5)の充実を。	1	－
⑹生活充実まちづくりの方針	71	具体的な方針	→住宅施策、子育て環境の充実を、福祉の視点も加え、 →住宅施策、子育て環境、福祉の視点を充実 と、修正の検討をお願いいたしたい。	2	－
⑹生活充実まちづくりの方針	71	・ユニバーサルデザインに配慮したまちづくり ・子ども子育て世代の生活環境に配慮したまちづくり ・高齢者や障がい者が安心して生活できるまちづくり	現計画の「すべての人にやさしいまちづくりの推進」の5項目のユニバーサルデザインの考え方は、それぞれハードを整備するという事であったが、新計画ではこれをひとくくりにしている。 これは、これからの20年は、すべての人を対象にハードを使いやすく手直ししてゆこうという事であると理解できるが、市民目線に立つと、この考え方とは裏腹に、すごくわかりづらくしていると思う。 吹き出しの考え方が、この一本化により、より伝わりにくくしているのではないか。 一方で、「子どもの生活環境に配慮したまちづくりの推進」が現計画と同じに独立した項目となっているが、ここに高齢者対応の記載がないのは、少し違和感があり、不十分ではないかと思う。 当市の令和2年度の65歳以上の比率は、約２７％、最終年次の令和２２年次には、約３０％と推計され、３人に１人が６５歳以上の超高齢社会になると見込まれる。 市民アンケートの結果にもあるように、「魅力や特徴のあるまちづくりを進めるうえで考えられるまちづくりのイメージ」について、「高齢者·障がい者やその家族が安心して暮らせるまち」のニーズがもっとも高い比率となっている。(44.2%) ここで、提案ですが、この中項目に、「高齢者・障がい者に配慮したまちづくりの推進」の項目を加え、二本建ての案から、ユニバーサルデザイン、子ども、高齢者·障がい者の三本建てとすることにより、「すべての人にやさしいまちづくりの推進」の考え方が、よりクリアになり、計画として、より明確になると考えます。項目追加の検討をお願いいたしたい。	1	－
将来都市構造	25	拠点等の位置づけ	骨子の3.についての説明があるが、将来都市構造の地区・核・軸の意味、位置づけが今一つ理解しづらい。地区と場所と核はどう違うのか。 核というのはゾーンのことですか？ 核(狭い意味合い）という言葉は、場所の表現には使わない言葉だと思います。今一度表現を集約整理したほうが良いと思う。都市構造の位置づけを逆にわかりづらく複雑化しているように思える。	1	－

【委員名：横内委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	回　答
将来都市構造	26	拠点等の位置づけ	防災減災核は「災害に強いまちづくりを推進する拠点」と位置付けられていて、資料3-2［将来都市構造図（案）］には2箇所が明示されている。市民アンケート（資料1-1・2）から防災力の向上に対する市民の意識が高いことからも2ヶ所のみいいのだろうか。少なくとも人口密集地ごとに何かしらの拠点を設ける必要があるのではないか。また何かしらの事情や理由があって2ヶ所に絞っているのであれば、それをどこかに明記した方が良いと思うが如何でしょうか。	1	―

【委員名：吉田委員】

素案目次	頁	項　目	ご意見	調整状況	適　用
－	－	－	道路整備・記載内容のネットワーク軸の形成（渡河部の渋滞緩和）とある渡河部とはどこの事ですか。	4	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	アンケート回収結果の誤差の意味	－	誤差とは、例えば回答者が選択した割合が50%であったとき、母集団の割合は95%の確率で±3.13%の範囲内であろうと推定されることを意味しています。
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	前回のマスタープラン策定前に実施したアンケートの中に「中学生まちづくりアンケート」と「事業所まちづくりアンケート」がありましたが、今回は実施されていない様ですがなぜですか。	2	－
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	不満が強いの項目に「鉄道網利用の便利さ」23.5%とありますが、具体的にどんな点か。	－	地域別でみた場合、彦成地域の満足度が最も低い結果となっています。 ＜自由意見の例＞ バス線の廃止や減便により不便になった。免許返納する高齢者の足の確保、市内バス路線を充実してほしい、ICカード利用可能にしてほしい、定期券を作ってほしい、松戸方面へのバスを出して欲しい、等
まちづくりの視点	18～20	市民意向（アンケート調査）	「幹線道路渋滞対策」とはどの道路のことですか。	－	早稲田地域での満足度であるため県道草加流山線の渋滞と思われます。渋滞対策としては、(仮)三郷流山橋及び三郷流山線等の整備を促進する予定です。
⑵道路交通体系整備の方針	41	鉄道利便性の向上	「鉄道利便性の向上」に（つくばエクスプレス東京駅への延伸の早期実現）を追加して欲しい。	1	－
⑵道路交通体系整備の方針	42	MaaSをはじめとする新たな交通システムの検討	「自動運転による公共交通機関（バスやタクシー）に対応する」を入れた方が良いのではないか。	1	－
⑷防災・減災まちづくりの方針	－	－	３）の見直しポイント表内のモミュニティの意味が良く分からない。一般的でない言葉は使わない方が良いのではないか。	1	－
⑸みどり・景観まちづくりの方針	60	－	「みどりのまちづくりの方針」と「景観まちづくりの方針」の統合により、くくりが大きくなった分、詳細な記述が減り分かりづらくなったのではないか。	3	各種個別計画において、詳細を記載すべきものと考えました。